



水道橋畔発

Transmission from SUIDOUKYOUHAN

第16号 平成24年6月

新しい水道橋病院－高品質の歯科医療 と臨床教育を提供する場をめざして－

病院長 一戸達也

東京歯科大学は4月に128名の新1年生をさいかち坂校舎に迎えました。水道橋移転事業は着々と進んでいます。水道橋病院は1月5日に1階の総合受付・医事課・薬局がオープンしました。これに合わせて、医療安全管理室・地域医療連携室・患者相談室などが設置されました。新しい水道橋病院の顔として、明るい雰囲気の中でその役割を發揮してくれています。2階には歯科用ユニット40台の総合診療室の他、学生ラボ・読影室・消毒室などが設置され、2月13日から運用が開始されました。現在は総合歯科と口腔外科が診療を行なっています。各ユニットはパーティションで区切られ、清潔感のある落ち着いた色調でコンパクトにまとめられており、患者様からもよい評価をいただいています。この総合診療室だけで1日400名程度の患者様が来院されており、医療スタッフは高品質の歯科医療をすべての患者様に提供すべく、大変忙しく働いています。同時に、歯学部学生および歯科衛生士学校生の臨床実習や歯科医師臨床研修を中心として、教育病院としての大学附属病院の機能を果たすべく、臨床教育にも力が注がれています。

今後は、3階に口腔インプラント科を含む高度歯科医療センターを開設し、併せて総合歯科・小児歯科・矯正歯科の診療室を順次改修していきます。同時に4階の口腔外科診療室や手術室を改修し、新しいCT装置を設置します。また、内科や眼科の診療スペースも移設または改修を行います。それぞれの改修期間が異なる上に診療を行いながら改修を行うために、すべてを同時に新装オープンというわけにはいきませんが、今年の夏以降、新しい診療スペースが次々にお目見えすることと思います。新しい水道橋病院にぜひご期待いただきたいと思います。

新しい水道橋病院には120台近くの歯科用ユニット

が設置されます。歯科大学附属病院としては決して大きな規模ではありませんが、1日に550～600名前後の患者様が来院されていますので、より多くの患者様に高品質の医療を効率よく提供できるように、教職員が一丸となって努力して参ります。工事中は騒音や振動などで、患者様に様々なご迷惑やご不快をおかけしており、大変申し訳なく思っております。もし、患者様から水道橋病院に関するご指摘等がございましたら、どうぞご遠慮なくお知らせいただければ幸いです。速やかに対応をさせていただきます。

東京歯科大学水道橋病院は、わが国の最も古い伝統ある大学の、最も新しい病院に生まれ変わります。教職員一同、水道橋病院をご利用いただくすべての方に満足いただけるように努力して参ります。今後ともよろしくお願いいたします。



東京歯科大学水道橋病院の理念「思い遣りの心に依る医療」

新任のご挨拶

総合歯科・医事課 杉戸博記



千葉病院総合診療科から口腔健康臨床科学講座（総合歯科学分野）に異動となり、また水道橋病院医事課長兼務を拝命し、平成24年4月より水道橋病院にて勤務しております。大学機能の水道橋移転に伴う水道橋病院の役割が今まで以上に増している中、その重責を痛感して

おります。

私は、平成6年に本学卒業後、歯科保存学第2講座（現歯周病学講座）に入局し、歯周病学の臨床、研究、教育に関して研鑽を積んで参りました。平成18年7月に退局後、平成22年3月までの間、主に歯科医師臨床研修や歯科保険診療に関する行政側の運用面に関して、厚生労働省にて貴重な経験を積む機会に恵まれました。また、平成22年6月からは千葉病院総合診療科に勤務し、主に研修歯科医への研修指導に取り組んで参りました。

近年、歯科医療従事者と患者の関係において、変化が生じて来ていることが様々な方面から報告等がなされております。この変化に対応するため、診療録等への適切な記載をはじめ、患者との良好なコミュニケーションの確立の必要性がこれまで以上に求められてきています。とくに診療録等の記載につきましては、歯科医療従事者が患者に対して行った妥当な歯科医療行為を、第3者の視点に堪え得る充実した内容で行われなくてはなりません。地域の先生方への歯科医療提供を行っていく際にも、これらの視点に立ち、より充実した提供内容としていきたいと思っております。

現在、私に与えられている立場と致しましては、歯科医療の提供の視点のみではなく、様々な視点を持って地域との医療連携を充実させていきたいと思っております。今後とも、皆様には一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

より良い医療連携を目指し第11回 水道橋病院症例報告会を開催

医療連携プロジェクト委員会 片田英憲

平成24年5月17日（木）水道橋校舎13階教室において第11回の症例報告会を開催しました。今回は、山下秀一郎教授（口腔健康臨床科学講座主任・総合

歯科科長）を準備委員長として、「明日の診療に役立つ確かなエビデンス」をメインテーマに開催しました。水道橋病院では、口腔を全身の一部として捉え、様々な歯科疾患に対応しております。その取り組みの一部をご紹介します。開業医の先生方が日常臨床で遭遇する諸問題の解決の糸口となるよう企画いたしました。その内容は、歯科だけではなく全身に関連するものといいたしました。

第1演題は、眼科のビッセン弘子教授より「老眼治療最前線」と題し、誰もが罹る老眼についての最新の情報についてお話ししました。第2演題は、総合歯科の山下秀一郎教授より「短縮歯列のコンセプトとその是非について考察する」と題し、補綴治療における診断時の注意点についてご紹介しました。第3演題は、日本大学歯学部口腔外科の外木守雄教授より「睡眠時無呼吸症候群に対する歯科医療の役割」と題し、近年注目されている睡眠時無呼吸症候群について、歯科医療の観点から、その現状と治療法についてお話ししました。（外木教授は、今年3月まで水道橋病院で口腔外科を担当しておりましたが、4月より日本大学歯学部口腔外科学講座特任教授に就任いたしました）。最後の第4演題は「明日の歯科診療に役立つペインコントロール」と題して、福田謙一准教授（歯科麻酔科）がお話ししました。これは普段遭遇することのある痛みを訴える患者に対するペインコントロールによる対応ということで、日々の臨床に携わるうえで役立つ内容だったかと思います。

お陰さまで、今回も120名を超える開業医の先生方にご参加いただき盛会となりました。ご来場いただきました先生方には大変感謝しております。ありがとうございます。



山下秀一郎教授による講演



講演風景

いました。東京歯科大学では本年4月より、水道橋病院から徒歩5分のさいかち坂校舎に新入生を迎え、また大学機能の水道橋移転を1年後に控え、診療室の改修や新校舎の建設が急ピッチで進んでおります。今後も開業医の先生方とさらなる医療連携を築けるよう努力してまいりたいと考えておりますので、ご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

水道橋病院 患者サービスに関するワークショップ開催

医療連携プロジェクト委員会 大多和由美

良質な医療の提供は社会からのニーズであり、これに応えるべく水道橋病院ではさまざまな工夫を行い対応しているところです。水道橋病院では、本学初の試みとして、患者サービスに関する問題点の抽出と対応策の検討を目的としたワークショップを、平成24年3月31日（土）13時30分から19時まで水道橋校舎13階教室において開催しました。水道橋病院の歯科医師、看護師、歯科衛生士、臨床検査技師、診療放射線技師、歯科技工士、視能訓練士、医事課事務職員合わせて30名が参加し、ディレクターは一戸達也病院長、サブディレクターは山下秀一郎総合歯科科長、高野正行副病院長、タスクフォースは古澤成博副病院長をはじめ水道橋病院スタッフ7名が務めました。

開講式、概要説明および他己紹介に続き、株式会社ヨシダ プランニング・マネージメント・コンサルタンツの小島龍哉氏による「医療現場のコミュニケーション



グループ演習風景



ワークショップ参加者と指導スタッフの全体集合

——一人一人が病院の顔——と題した講義を受講しました。続いて各グループに分かれ、「1. 水道橋病院における受付の問題点」「2. 水道橋病院における診療現場（診療室、病棟）の問題点」の2つをテーマとして、KJ法を用いた問題点の抽出、討議を行い、グループ毎に発表を行いました。発表を受けて活発な討議がなされ、ハード、ソフトの両面から様々な問題点が抽出されました。

次に、本学法人庶務課の山崎知春事務員による講義「接遇について——医療と航空——現場でのHospitalityを考える——」を受講した後、前半のセッションで抽出された問題点への対応についてグループ討議および発表を行いました。

問題点は、直ちに対応することが困難なものと早急に対応できるものとがありました。何より、参加者全員が病院のサービス向上について真剣に考えていると分かったことが大きな収穫であったと思います。終了後のアンケートでは、「各自の所属で直ちに実践できると思うことは何ですか。」という設問に対して、「笑顔で患者さんに接する」「接遇、身だしなみ」「皆で問題点を話し合い、解決していく姿勢」「マニュアルに頼らず、自分でも考えて行動する」「患者の誘導、待ち時間対策」等の回答が寄せられ、明日からの患者サービス向上に役立つことを確信しました。水道橋病院では、より良い患者サービスを提供していくために、スタッフ一同更に努力を続けていく所存です。

第9回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会を開催

口腔外科 笠原清弘

平成24年1月12日（木）17時30分より水道橋校舎13階C教室において、「第9回東京歯科大学外科的矯正治療勉強会」を開催しました。千葉、市川、そして水道橋の3病院合同となるこの勉強会も第1回を開催してから約2年半を経過しすっかり定着した感があり、今回も大学の内外問わず多くの矯正歯科医、口腔外科医、そしてクリニックスタッフの方々に参加いただきました。

今回は「オートガイ形成術について」をテーマに3講演を行いました。最初に千葉病院口腔外科の成田真人助教より「オートガイ形成術——適応と実際——」と題し、実際の症例に基づいた適応と効果を供覧しました。続いて千葉病院矯正歯科の西井 康助教より「オートガイ形成術による軟組織の変化」と題して、主に術前後の軟組織の形態変化について解説しました。最後に水道橋病院口腔外科の山本雅絵助教から「オートガイ形成術の機能的側

面」について、特に口唇閉鎖不全の改善を目的とした本術式の効果について説明しました。

総じてオトガイ形成術の適応、手術法、術前術後の変化、および機能的要素などから治療のコンセンサス、最近の治験などに至るまで幅広いテーマで活発な討議がなされ、大変有意義な勉強会となりました。

次回は平成24年7月12日（木）の開催が予定されており、メインテーマは「顎変形症の診断 過去、現在、未来」です。参加ご希望の方は、水道橋病院口腔外科の笠原か、矯正歯科の片田までご連絡ください。

歯科技工室主催勉強会—ジルコニアを用いた天然歯修復&インプラント補綴—

口腔インプラント科 松崎文頼

平素より、科へ診療のご依頼をいただき、心より感謝を申し上げます。

平成24年4月16日（月）に、歯科技工室主催による最新のCAD/CAMシステムについての勉強会を開催いたしましたのでご報告いたします。

先進のCAD/CAM技術の進歩は著しく、臨床に応用される頻度が高まってきております。一方では、患者さんからの審美的な要求の高度化、貴金属の価格高騰、金属アレルギーなど、我々が日々直面している問題も変化してきております。そこで、今回、東京歯科大学口腔インプラント科臨床教授の飯島俊一先生にお越し頂きまして、「ゼノテックCAD/CAMシステムの概要」とのテーマで、基礎的データと実際の症例を織り交ぜて講演を頂きました。ゼノスターとは半透明ジルコニア素材を用いることのできるCAD/CAMシステムであり、ジルコニアの強度（曲げ強度約1200MPa/、ビッカース硬度約1300HV₁₀）がそのまま反映されるため、破折の危険性が軽減されること、色調も現在4色あり、高い審美性を有すること、また、インレー・クラウン、単冠から連冠、フルブリッジまでの適応範囲の広さ、並びに、金属アレルギーへの対応、貴金属の価格高騰に対するコストパフォーマンスなどを向上することが可能であ



飯島俊一臨床教授による講演

ることを、症例を通じて示されました。ご講演頂きました飯島先生のオフィスでは、年々、CAD/CAM技工を使用する頻度は高まっており、その理由として、従来の補綴物で前装破折等の問題の減少が挙げられるとのことでした。同時に、まだ経過は短く、今後も注意深い経過観察が必要とも付け加えて説明されておりました。続いて、ゼノテックCAD/CAMシステムを取り扱っている大信貿易株式会社のCAD/CAM推進部部长小林正文氏より、CAD/CAMのオープン化ということで、海外での現状を踏まえて、今後、各メーカー間の壁を越えて、材料は関係なく削出できる将来性・発展性についてご説明頂きました。このたびの勉強会で取り上げられたCAD/CAMシステムによる技工物は、従来の鑄造による補綴物にもまさる、十分な強度、適合性、並びに審美性を有しており、今後、我々の臨床を大きく変換するものだと実感できる内容でした。

会には、院内のみならず院外からも30名を越える多数の歯科医師、歯科技工士のご参加をいただき、盛況な会となりました。今後も院内外を問わず、皆様にご参加頂ける勉強会を企画し、様々な情報発信をしていけるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせ下さいますようお願いいたします。

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧	
総 合 歯 科	03-5275-1721~2
口腔インプラント科	03-5275-1760
小 児 歯 科	03-5275-1723
障 が い 者 歯 科	03-5275-1723
矯 正 歯 科	03-5275-1724
口 腔 外 科	03-5275-1725
歯 科 麻 酔 科	03-5275-1851
眼 科	03-5275-1856
内 科	03-5275-1926
放 射 線 科	03-5275-1953
FAX (各 科 共 通)	03-3262-3420

水道橋病院 診療案内	
初 診 受 付	平日、土曜とも 午前9時から午前11時
診 療 時 間	平日 午前9時から午後5時 土曜 午前9時から午後12時
休 診 日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日（2月12日）、年末年始

水道橋畔発編集委員

編集委員長 片田英憲

編 集 委 員 大多和由美、高野正行、古澤成博、
山下秀一郎、仁科牧子、関根秀志、
上島文江、小林友忠、藤倉隆行